



インターアクト訪韓団 集合写真

# Governor's Monthly Letter

ガバナー月信



Governor  
Message

ロータリー文庫

ガバナー 岩淵 均

2008-09年度 国際ロータリー第2770地区

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂1-2-1-116

エイベックスタワー東館1階

T E L : 048・827・0022

F A X : 048・827・0011

E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp



先月は雑誌月間でした。皆様は「雑誌月間」というと何を思い出しますか?恐らく「ロータリーの友」、「the rotarian」、「ガバナー月信」の順番だと思います。私は以上に加えて「ロータリー文庫(以下、文庫)」を思い出します。「ガバナー月信」に「文庫通信」を毎月掲載しているからです。ということで雑誌月間中に「文庫」を訪れてみました。

東京は浜松町、黒龍ビルの3階にあります。黒龍ビルには「ガバナー会」、「米山記念奨学会」、「ロータリーの友」などの事務局がそれぞれ独立してありますが、「文庫」も独立した一室を占めていました。想像していたよりも小さなスペースですが、ロータリーに関する多くの資料が整然と、特に、日本中のガバナー月信が(恐らく創刊号から)全てファイルされていることに感心しました。

これだけ素晴らしい資料館であるのに、何故、会員からあまり活用されていないのでしょうか?理由とそれに対する対策を自分なりに考えてみました。

1. 役に立つ資料がデジタル化されているか?
2. デジタル化されていない資料は検索してもその内容が分からない。
3. デジタル化された情報はPDFという形式で保存されているが、紙情報をスキャンしたPDFであるので加工が一切不可能であること。

1については、全ての情報をデジタル化することは時間も費用もかかることなので、どの資料から順番にデジタル化していくか、方針を立てて、その方針を会員にも示すことが必要。

2については、資料の概要が判れば一番良いが、「目次」とか「最初の数行」とかがあればヒントになるものと思う。資料の分量を知るためにページ数が示されていれば有難い。

3については、現在、会員からの資料提供が紙ベースのようであるが、紙と同時にPDFデータを提供してもらえると良いと思う。

以上が大きなポイントですが、その他、「文庫」のホームページ上に「ロータリーの源流(田中毅PDGのホームページ)」等にリンクを張る、「文庫」のホームページ上にデジタル投稿用のメールアドレスを載せる、資料価値の高い論文(一定の基準を設けて、例えば5000字以上の論文)のデジタル投稿を促す、会員にアンケートを実施する等々。

「文庫」の貴重な資料が一人でも多くの会員に利用され、ロータリーを愛する会員が増えることを望みます。

# 「奉仕の理想」に関する一考察

ガバナー 岩瀬 均

「ガバナー！、ガバナーは『奉仕の理想』をどのように理解されていますか？『超我の奉仕』もお伺いしたい」。公式訪問の終盤でこのような質問が飛んできました。もしかしたらこのような質問が出るかもしれないと思っていましたが、公式訪問も後半になるまで出てこなかったのです、やはりこのような意地悪(?)な質問は出ないのかな、と思っていた矢先だったのでした。

第2760地区(愛知県)のガバナー月信のタイトルは、ズバリ「奉仕の理想」です。当然、月信の第一号で「奉仕の理想」について解説がありました。月信のタイトルとして掲げていても尚、「奉仕の理想」という言葉は理解しにくいと書かれています。

第2760地区ガバナーはロータリーの綱領の難しさを大凡次のように指摘しています。

まず、「事業の基礎」と「奉仕の理想」との結び付きの不自然さ；「事業の基礎」として「貯蓄を奨励する」とか、「人の和を強調する」というのなら分かる。何故なら、それは事業のために必要なものだからだ。「事業の基礎」に「奉仕の理想」は通常結びつかないものである。従って、この関係が分かりにくい。

次に、「奉仕」と「理想」の関係；「私の理想」、「あなたの理想」というのなら分かる。「理想」という言葉の前の語は人間かそれに類するものである筈だ。それが意外にも「奉仕」という意思を持たない語が来ているので理解に苦しむ。(中略)このような難解な綱領をすぐにでも改め、理路整然とした理解し易い、格調の高い日本語の文章にしなければならないと思っている。

このように第2760地区ガバナーは、ガバナー月信の第一号で本質を指摘されています。

私も「奉仕の理想」や「超我の奉仕」を自分なりに理解するのに長い間考えていました。他のガバナーですら悩んでおり、また、私の公式訪問の際に質問があったこともありますので、一年間のガバナー年度で私が考えたことを披露することも意味があると考えて、今月号の原稿としました。

## ロータリーのモットー

「奉仕の理想」の解釈に入る前に、ロータリーの第一モットーである「超我の奉仕」について考えてみます。

ご承知のようにロータリーのモットーには二つあり第一モットーが「Service above Self. 超我の奉仕」であり、第二モットーが「He profits most who serves best. 最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」です。

「超我の奉仕」とは単純には「私を超えた奉仕」ですから「滅私奉公」になりそうですが、そうならないことは皆様ご承知の通りです。それではどういう意味か。私は原文に戻って読解を図りました。これから日本語と英語が混ざり合いますので、読みにくいと思いますが、我慢してお付き合いください。

## 1. Service の訳は「奉仕」か？

“service”を英英辞書で引くと a business whose work involves doing something for customers but not producing goods; the work that such a business does.とあります。また、例文として We guarantee(an)excellent service. という例文も載っていました。

すると“service”の訳は、「ただ働き」あるいは「仕え奉る」という意味を連想させる「奉仕」と訳すよりも「サービス、役務、用益、仕事」と訳す方が相応しいように思います。

私はロータリーの用語の中で一番難解なのは、この「奉仕」という言葉だと思います。「奉仕」という言葉は、どうしても「滅私奉公」や「自

己を犠牲にして人や組織に尽くすこと」を連想させますので、これが一番曲者となります。仮に「奉仕」と訳しても、「只働きから職業としての仕事」まで含めた広い概念として捉ええないと、迷路に陥いると思っております。

因みに、「4大奉仕」の原文は”Four Avenues of Service 直訳は「サービスの4つの道」であり、「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「国際奉仕」の原文はそれぞれ、”Club Service”, ”Vocational Service”, ”Community Service”, ”International Service”です。クラブにおいても、職業においても、地域社会においても、国際においても“Service”という言葉を使っているのも、“Service”はかなり広い意味を持っているものと思います。そうするとそれぞれの意味は、“Service”が行われる場所の違いによって「クラブ運営」、「職業」、「地域社会のための活動」、「国際的な支援活動」と異なる訳にした方が理解しやすいのではないのでしょうか。

「奉仕」という言葉が分かりにくい(特に「職業奉仕」)理由は、“Service”の持つ広い意味を、「奉仕」というどちらかという狭い意味の言葉で訳しているからだと思います。

## 2. Self の訳は「我」か？

同様に、(formal) your own advantage or pleasure rather than that of other people. 例文として She didn't do it for any reason of self. A selfish person puts self first. があります。

これを読むと、全人格を意味する「我」と訳すよりも「私利私欲」と訳す方が相応しいように思います。因みに、決議23-34(手続要覧P84)でも“Service above Self.”に関して、「ロータリーは一つの人生哲学であり、利己と利他の調和である」と述べられています。

次に、第二モットーに移ります。同様に、

## 3. Serve の訳は「奉仕する」か？

“serve”の意味は Serve~(somebody)(as something), ~ (in/on/with something) と用いて to work or perform duties for a person, an organization, a country, etc. とあります。また、例文として She served in the medical corps. I wanted to work somewhere where I could serve

the community. があります。

すると「奉仕する」と訳すよりも「働く、役に立つ、サービスを提供する」と訳す方が相応しいと思います。

以上より、ロータリーのモットーの訳として、私が最も理解し易い訳文は

「Service above Self. 私利私欲を超えたサービス。あるいは、私利にとらわれない仕事」

「He profits most who serves best. 最も良いサービスを提供する者が最も利益を上げることができる。あるいは、最も良く働く者が最も利益を上げることができる。」

となります。ただ、「最も良く働く者が最も利益を上げることができる。」ではあまりに当たり前のことでもあり、また、俗物的過ぎるような感じがしないでもありません。イギリス人などがこのモットーをロータリーの標語から外そうとしているのは、この辺にあるのかもしれないとも考えます。

日本人にとってはこれまで使われてきた「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」あるいは「奉仕に徹する者に最大の利益あり」の方が、好まれることでしょう。

## 「奉仕の理想」とは

いよいよ「奉仕の理想」です。こちらを論ずるには「ロータリーの綱領」に触れない訳にはいきません。「ロータリーの綱領」の解説としては東大阪みどり RC の研究が参考になります(ホームページは <http://midorirc.blog.57.fc2.com/>)。この資料等を参考にして私の達した結論を以下に記載します。

## 4. the Object of Rotary の訳は「ロータリーの綱領」か？

やはり英英辞書を引くと“Object”は: an aim or a purpose.、例文として Her sole object in life is to become a travel writer. とありますので、これはよく指摘されるように「ロータリーの目的」がいいと思います。

## 5. the ideal of Service の訳は「奉仕の理想」か？

“ideal”の意味は a perfect example of what something should be like. であり、例文として

Are our ideals of beauty changing?が載っています。

また、東大阪みどり RC の掲載している例文には the ideal of English gentleman(「英国紳士」という概念の中で最高のもの＝英国紳士の典型)であり、「英国紳士の(抱く)理想」ではない：東大阪みどり RC、但し、( )内は小生追加)があります。

すると the ideal of service は「サービスの極致、サービスの最良(最高)のもの、(最良)最高のサービス」と訳すのが適当ではないかと思えます。

## 6. as a basis of worthy enterprise の訳は「有益な事業の基礎として」か？

“worthy” を語意通りに「価値のある」と訳し、“enterprise” は東大阪みどり RC が指摘しているように、不可算名詞として用いているので、「企業」でなく「企業活動」または「企業経営」と訳すものと思います。

例文では prefer private enterprise to nationalization(国営化するより民営の方を好む)というものがあります。これらを勘案すると、「価値ある企業経営の根底として」と訳すと分かりやすいのではないのでしょうか。

また、第2760地区ガバナーが指摘するように「『事業の基礎』として『奉仕の理想』を鼓吹し育成する」、というつながりも分かりにくいと思います。通常、「事業の基礎」となるものは、例えば「優秀な人材」、「豊富な資金・資材」、

「高度な技術」、「優良な協力企業」等々ですので、「事業の基礎」としての「奉仕の理想」というつながりは私も理解に苦しむところです。

この点からも「事業の基礎」は「企業経営の基礎あるいは企業経営の根底」と訳し、「奉仕の理想」は「(最良) 最高のサービスあるいは製品を提供すること」と訳すべきではないかと思えます。

以上の議論から導き出される結論は、

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster: を

「ロータリーの目的は、価値ある企業経営の根底として、最高のサービスあるいは製品を提供することを奨励し、育成することである。個々に述べれば、…」

と訳すことになります。

これは私達事業家が常に心がけるべきことであり、また、実行していることでもありますので、合格点の与えられる訳ではないかと、考えております。

これまでロータリーで行われてきた解釈やこれまで使われてきた訳と大分異なりますが、私なりの結論として皆様に披露致しました。

この原稿を機会に皆様がそれぞれの考えを発表し合い、「格調の高い日本語の文章」になれば幸いと存じます。

## 「The Object of Rotary」の日本語訳を変更するには

格調が高くしかも理解し易い日本語訳が望まれることを述べましたが、日本語訳はどのような手続きで変更されるのでしょうか。日本語の訳文ではありますが、規定審議会に諮らなければならないようです。因みに、2007年の規定審議会で「The Object of Rotary」第一項のスペイン語訳を変更することを検討するよう、理事会に要請する決議案が採択されています(決議案07-143)。

変更内容は、

Primero. El conocimiento mutuo y la amistad como ocasión de servir. El desarrollo de relaciones personales amistosas como una oportunidad de servicio.

スペイン語の英語訳 First. Mutual—acquaintance—and friendship as an opportunity to serve. The development of friendly personal relationships as an opportunity for service.

スペイン語の日本語訳 第1。奉仕の機会としてのお互い

の知り合いと友情 奉仕の機会として友好的な人間関係の開発

この解説は次の通りです： 英字辞書によると“acquaintance”とは“friendly relationship with a person who is known, through work or business, but who is not a close friend.” 親友ではなく、職場または事業を通じて知り合った人との友好関係)なので、スペイン語訳に(英語の原文にはない)“friendship”友情)を入れることは、その解釈や会員間の関係において混乱を生じかねない。

ということで、2007年の規定審議会で、「友情 friendship」を「友好的な人間関係の開発 The development of friendly personal relationships」に変更することを検討するよう、理事会に要請する決議案が採択されています。



## インターアクト日韓青少年交換

### 第21回インターアクト訪韓に想う



今年で21回目のインターアクトの訪韓は、3月25日～30日の六日間、韓国平澤市（ピョンテク）に於いて初めて実施され、インターアクト47名、顧問教師4名、ロータリアン8名、総勢59名が参加いたしました。

韓国3750地区との友好関係は、昨年5月済州島で20周年記念式典が開催されたばかりですが、多くの先輩ロータリアンによって築かれてきた友好関係の歴史は、今や両地区にとって素晴らしい伝統文化であり、インターアクトにとっても実に輝かしい歴史であります。

国際ロータリー第2770地区

訪韓団団長 森田 武司（大宮北東 RC）

28日の歓迎・交流会では、双方のインターアクトとホストファミリー、ロータリアンなど約260名が参加し、生徒たちの熱心な歌や演技の披露に大きな喝采をうけ、大変楽しい交流の場となり盛会裏に終わることが出来ました。

30日朝涙のお別れ会を終え、二台のバスに分乗した生徒たちが、仁川空港に向かう車中で、同乗した生徒全員が日本の国歌「君が代」を斉唱していたのは実に感動的でありました。

韓国3750地区、金永植ガバナー、訪日団オム団長、同期の金永日 PG、朴委員長と委員の皆さん、そしてホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。そして又、ご苦勞を頂いた顧問教師の先生方、金杉部門委員長、佐藤委員長と委員の皆さんお疲れ様でした。心から感謝を申し上げます。

### インターアクトの日韓文化交流



訪韓学生全員で歌を披露する

インターアクト、日韓青少年交換は今年で21回目を迎えました。その間このプログラムに参加した高校生だけでも2000人を超える数になりました。

これこそ、ロータリーの目指す国際理解と国際平和の構築の理想を世界の若者達と共に手を携え協力しあいながら実践活動を推進する活動です。

青少年の積極的な国際活動を私達は願って今日まで韓国第3750地区との交流を継続してきたものと理解しております。

新世代部門委員長 金杉 光左生

今年度は研修生47名、引率教諭4名、ロータリアン家族8名で訪韓致しました。訪韓に際しましては、計8回の事前研修を行い生徒それぞれの準備を整えての出発でした。5泊6日の短期青少年交換でしたが生徒一人一人は異文化交流体験と感動の日々を送りこれからの長い人生に善い結果をもたらしてくれる事でしょう。

また、今回の訪韓に際しましてより一層、第3750地区ロータリアン一人一人が青少年に寄せる想いの深さに頭が下がりました。

今後も継続されるこの事業、今一度、地区として新世代部門として再考し、よりよい国際交流と異文化理解の体験の場として提供して頂きます事を願います。

最後にこの事業に際しインターアクト提唱クラブの皆様と地区内ロータリアンの皆様に感謝を申し上げます。以上

## 韓国研修で学んだ事

南稜高校 新道 義也

あっという間の5泊6日の韓国研修でしたが、色々な事を学べ、充実した6日間でした。たくさん思い出の中で特に印象に残っている事は、たくさんの人と交流したことです。

ホームステイでは対面式の時までホストファミリーが分からなかったのととても不安でしたが、私と菊池君を迎えてくれたホストファミリーは私達を家族のように接してくれました。ホストファミリーは4人家族で、私と同じ歳の男の子と5歳くらいの女の子がいました。同じ歳のチョウ君は自分達が寝ている時に帰ってくるため最初は会えませんでした。次第に会えるようになり英語でたくさん話をしました。女の子はとても元気で家でいつも一緒に遊んでいました。ホストファミリーはあまり英語が話せなかった所以我は韓国語の本を使いながら、一生懸命いいたい事を伝えたらやさしく応えてくれました。そのとき、言葉より気持ちを伝える事のほうが大事だということを実感しました。ホストファミリーは私たちを色々なところに連れて行ってくれました。ホームステイ最後の日にはとても寂しく、本当の家族と別れるかのようには悲しかったです。

2日目の朝、チョウ君の通っている高校に行く事になり、学校を見学し、チョウ君のクラスを訪問しました。そのクラスは、日本語の勉強をしていて、僕達はみんなの前で日本語で自己紹介をしました。校内を回り、帰るとき、クラス全員が見送りにきてくれました。そのとき、みんな積極的に話しかけてきてくれて嬉しかったです。お世話になったロータリーにはフランスからの留学生がいて、会う時間があまりありませんでしたがたくさん話しました。

この研修1番の行事の交流会では、1月に日本に来てくれた人たちと再会し、初めて海外の友達との再会に喜びと感動を覚えました。自分達の発表会では司会を務め、進行しました。こ



の仕事では、事前に原稿を何度も練り直し、練習しました。本番の時突然発表と発表の間を話で埋めるなど原稿通りに行かないところもありましたが、終わったときの達成感は一倍感じられ、やってよかったなと思いました。この仕事では、人前に立つ事の大変さや進行の大切さを学ぶ事が出来ました。その後の交流会では、色々な人と名刺を交換したり、写真を撮ったりして交流しました。

5泊6日で数えきれないくらいたくさんの人と関わりましたが、どの人も日本語を一生懸命勉強していてとても上手で驚きました。私も韓国語を引き続き勉強していきたいと思います。

また、この研修を通して、私の中の韓国に対する考えが変わり、人々の温かさや、積極的なところなど、色々で見習いたいと思いました。

この研修でであった韓国の友人、仲間の研修生達とは引き続きメールなどで絆を深めていきたいです。

6日間ととても短い間でしたが、自分自身とても成長できた韓国研修だったと思います。この研修を企画してくれた人、事前研修でお世話になった先生、日本のロータリーの方々、韓国のホストファミリーやロータリーの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。そして、カムサハムニダ。

## 貴重な韓国研修



私は韓国研修をとても楽しみにしていました。研修で勉強した韓国語を生かして、実際に会話ができるのかな……と期待と不安もありました。

韓国に行って得したこと（良かったこと）は、ホストファミリーと楽しく過ごせたことです。お母さんとは接した時間が1番長くて、とても優しく親切な方で、いろんな韓国の食べ物を食べさせてもらいました。中でも朝食に食べた、少しピリ辛のスープが本当に美味しくて、何杯もおかわりをしました！（笑）海苔も美味しくてお土産にいっぱい買いました。朝食しか一緒に食べられませんでした。お母さんの味は思い出です。お父さんとお姉さんは、朝と夜にしか会えませんでした。とても楽しい貴重な時間を過ごしました。

## 韓国研修を通して

私にとって韓国は初めての海外でした。行く前は、研修で教えていただいた韓国語を使ってうまく話せるかどうか、とても心配でした。

しかし、ホームステイ先の家族は私たちをととてもあたたかく迎えてくれて、私の不安は1日目で解消されました。ステイ先の家族とは、少しの英語と私のつたない韓国語で話しました。

日本からのお土産で「柿の種」を持っていくと、一生懸命辞書から探して「前から欲しかったものです」と言ってくれた時は、とても嬉しかったです。

この研修で本当にたくさんの思い出ができました。特に交流会では、1月に私の学校にきた友達や、日本語国際センターで交流した友達と再会することができて、とても嬉しかったです。

また、高校生同士の出し物を発表することでお互いを理解し、気持ちが近くなったような気がしました。

この6日間はとても充実したものでした。言

浦和実業学園 矢作 夏美

韓国に行って損したこと（反省したところ）は、韓国語で会話が出来なかったことです。研修会で勉強したのにも関わらず、どの場面を使えばいいのかわからなくて、自分の中で混乱してしまっただけです。さらにホストファミリーの方々は英語が話せず、韓国語がほとんどでしたのでとても混乱しました。

ですが、言葉が通じなくても何かで通じていたような気がして、安心感がありました。一緒に過ごした中、笑顔でいっぱいでした。

韓国研修での思い出は、たくさんありすぎて溢れそうです。貴重な韓国研修をありがとうございました。

今度また、いつか韓国に行く機会があって、ホストファミリーと再会できればいいな……と思います。その時は一通りの韓国語が話せられるといいです。なお、添付の写真は、体験作りで作ったものです。名前は忘れてしまいましたが、魔除けをするらしいです。

春日部東高校 野村 祥子

葉でのコミュニケーションが難しくても、ジェスチャー等を使ってたくさん交流することができたし、とてもたのしかったです。



韓国の人はみんな優しくて、本当に韓国という国が好きになりました。また、機会があれば、今度はもっと勉強して行きたいと思います。今回の研修は私にとって自分自身を成長させる大きなきっかけにもなりました。

このような機会を与えてくださったロータリーの皆様、先生方、そして、あたたかい歓迎をして下さった韓国の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

研修は終わったけれど、これで終わりではないので末永く韓国との友好関係が続いていったら良いと思います。

## IM 報告

## 第6グループ インターシティ・ミーティング

## テーマ「日本のこころの教育」

2009年2月12日(木)／春日部市民文化会館

第6グループガバナー補佐 島村 廣幸



IM テーマを「日本のこころの教育」とし、会長幹事会に提案、討議して、会員の皆様のご支援を頂き、来賓に春日部市石川市長をお迎えし、春日部市教育委員会の後援を賜り、ロータリアン以外のJC、PTA、地域有志の方にも参加頂き、開催することが出来ました。

第一部は、RI テーマ「夢をかたちに」の取組み実施状況を、船の操縦者であります7クラブ会長から報告頂きました。

第二部は、森田ガバナー年度の、新世代記念講師でありました境野勝悟氏を講師にお招きし、「日本のこころの教育」のテーマでの講演を頂きました。

「日本のこころの教育」のテーマを掲げたのは、RI テーマの人道支援の実践で、多くの若人が国際社会に飛び出して活躍しておりますが、「日本人としての心の持ち方」が心配です。

このままではいけないと感じた2つの事例を、申し上げました。

①昨年の「知覧特攻基地でのライラ研修」での討論会の中で、米山奨学生が「敗戦後の今日の復興を成し遂げた日本人を、尊敬し、見習い、更には脅威の念を持っていたが、今の同世代の青年には、見習う事も、脅威も感じない。なぜか！それは国を思う心と、日本人としてのバックボーンがないことだ」と言ったことであります。

②2007～08の冠名奨学生でカナダに留学した西宮清夏さんの体験発表であります。

「日本人としての誇りを持ち、日本の文化を

理解し、それを発信できることが大切である」と、ロータリー部門セミナー(2008年7月19日)で体験発表されました。

境野先生の講演に先立ち、西宮清夏さんにカナダでの留学体験を生々の声で発表頂きました。

このことを、岩瀬ガバナーは喜んで頂き、ガバナー挨拶の際に、西宮清夏さんの活動実績とロータリー貢献度について、ご報告頂き、花を添えて頂き、有難う御座いました。

第三部は、グループ内の会員の親睦と面識を、これまで以上に深めて頂きました。

境野先生も出席を頂き、例会で唄う国歌「君が代」についてのお話もありました。

君が代の原典は、1018年和漢朗詠(藤原公任)にあり、天皇を表す意味は無しとのこと。

**参考** 君が代は恋文と考えられ、詠み人は女性で、原典の歌詞「我君」は、女性が男性を呼ぶ時の言い方である。⇒「私の愛する人の命が何時までも長いように」という意味である。

我君は＝あなたが⇒男性が唄えるように「君が代」に変え、唄い続けられた。

千代に八千代に＝何時までも続きますように。

細れ石の巖となりて＝細かい石が固まって岩石となり苔のむすまで＝それに苔がむすまで

国歌君が代は、日本国内では評判が悪いが、欧米での国際評価は高い。

外国の国歌は欧州で生まれたが、攻めろ、戦え、殺せ、等と殺伐としているが、日本の君が代は美しく雅楽を基調とした独特の曲で、欧州人には興味深く、評判も良い。





## IM 報告

## 第11グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「ロータリークラブと市民の集い・  
ポリオ撲滅にご協力を」

2009年2月28日(土)／川口駅前「キュボ・ラ」広場

第11グループ ガバナー補佐 中里 公造



2月28日(土)川口駅前「キュボ・ラ」広場に於いて、前日に雪が降ったのが嘘のような穏やかな青空の下、岡村川口市長を始めとするご来賓の皆様、そして岩渕ガバナーを始めとしてグループ内ロータリアンとそのご家族の皆様、更には多くの市民の皆様にもご参加をいただき開催致しました。RIが取り組んでいる最大の事業はポリオ撲滅ですが市民の皆様の中でこのことを知っている方はほとんどいないというのが現状です。また岩渕ガバナーはロータリーの広報活動を積極的に行って下さいと強調されています。

そこでIMのテーマは「ロータリークラブと市民の集い」とし、ロータリアンと市民の皆様との交流を通じ少しでもロータリーの活動を理解してもらうということに重点をおきました。更に「ポリオ撲滅にご協力を」のチラシを5000部作成しロータリアンを中心として広範囲に配布しロータリーの活動をアピールしました。



女性音大生ちんどんバンド「ざくろ」による駅周辺の練り歩きでIMの開催をアピールしセレモニーの後、各クラブごとに設置したテントでは模擬店として焼きそば、豚汁、おでん、蟹汁、わたあめ、餅つき、芋煮等々の販売を行い多めに用意した食材が予定より早く全てのテントで売り切れるという盛況でした。

その間舞台および広場では青少年交换来日学生・国際親善奨学生・米山奨学生によりプログラムの素晴らしさを市民の皆様にもアピールし、また各クラブが考えたさまざまなイベントが行われ、更に大型スクリーンではポリオ撲滅を中心としたRIの紹介ビデオを放映し、各クラブごとの出し物の時にはクラブの紹介と実践している奉仕活動を放映しました。

最後、総勢百数十名による子供たちのヒップホップダンスでは駅のデッキにも沢山の市民の皆様で溢れ、この模様は翌日の埼玉新聞に大きく取り上げられました。

また各クラブのテントごとに設置したポリオ撲滅に対する募金箱には市民の皆様より多くの浄財をご寄付いただきました。ご協力いただきました全ての皆様にも心より感謝申し上げます。IMの報告とさせていただきます。



## 国際ロータリー第3800地区（フィリピン）2008～2009年度 地区大会の参加報告

国際奉仕部会委員長 山本 孝

2009年3月13日（金）14日（土）の2日間国際ロータリー第3800地区（フィリピン）の地区大会に参加した様子を報告致します。



今年度、当地区ではRI3800地区のバスターエディ・チュア氏がRI会長代理として来訪され格調高いスピーチをされた事は記憶に新しいと思いますが、それと対称に当地区の田中徹夫バスターがRI3800地区のRI会長代理として選出されました。

私達RI2770地区にとってWCS事業を長年RI3800地区と手を取りあって、数多くのプロジェクトを行なっていますので、大変嬉しく思い、WCS事業の施行も兼ねてぜひ、RI3800地区の地区大会に参加したいと皆様にお声をかけたところ、12名の参加をいただき、田中徹夫RI会長代理と令夫人を先頭に3月11日（水）に成田を出発してフィリピンに到着。空港より直行でリサールセントロRCミッドイストRCと合流して第1グループ5クラブのプロ



ジェクトを現地視察。12日（木）にサンファンウエストと合流して桶川イブニングとのプロジェクトを展開

し数多くの目の澄んだ笑顔のかわいい子供達と出会う事が出来ました。

翌日（13日）に地区大会1日目が開催され、田中徹夫RI会長代理が英語で基調スピーチされ、とてもカッコ良くスムーズな話し方に感心して聞いていました。私は誠に残念な事に内容はチンプンカンプンでしたが、基調スピーチが終わりましたら、会場が割れんばかりの大きな大きなとても長い拍手がありました事、皆様に報告致します。又、式典中にRI2770地区と歴史のある友好関係と意義ある効果的なWCS事業に対して感謝状をいただきました。



田中徹夫バスターと奥様が楽しく踊っている様子です

夕食をいただきながらのダンスパーティーは大いに盛り上がり、大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。

2日目の地区大会の式典も当地区と同様なプログラムですが、大いに違うのはロータリアンが地区大会に出席するのではなく、参加するということです。

西暦1960年代より10年おきに当時の出来事や映画・歌など、集約して各クラブ・各グループが一同に介して、劇をしたり、歌ったり、ダンスをしたり、いろいろなパフォーマンスで発表しています。



とても楽しげに生き生きと活動している様子を見ながら当地区に当てはめると大いに無理がある様に思われ、これは国民性の違いだと変に理解をしてしまいました。  
本当に手作りの地区大会という感じです。



2日間の地区大会終了、田中徹夫 RI 会長代理と令夫人大変お疲れ様でした。



その後、RI3820地区へ WCS 事業に移ります。サンパブロ RC と合流して、蓮田 RC と浦和北東 RC 合同で、マッチンググラントで詳細は WCS 事業報告として阿部明博 WCS 委員長より報告があると存じます。ご期待を!!

## 国際ロータリーからの 表彰

当地区の3名が国際ロータリーより  
表彰されました。  
詳細は以下の通りです。

## 超我の奉仕賞

パストガバナー

高窪 昭雄 (浦和 RC)



## ロータリー財団特別功労賞

パストガバナー

高浜 彰男 (幸手 RC)



## ロータリー財団功労賞

パストガバナー

森田 武司 (大宮北東 RC)



## 文庫通信 (259号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

### 各地区ガバナー月信より

- ◎「ようこそロータリーへ」 説田五左衛門 2009 3p (D. 2800)
- ◎「例会とロータリーの原理原則」 安孫子貞夫 2009 1

p (D. 2800)

- ◎「ロータリーの根本を考える」 井上暎夫 2009 3p (D. 2660)
- ◎「Stigma 恥辱の烙印」 塚原房樹 2009 2p (D. 2510)
- ◎「職業と奉仕」 近藤雅臣 2009 2p (D. 2660)
- ◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(7)～(9)」 青木伸翁 2009 3p (D. 2770)
- ◎「識字率向上は世界平和への道」 諏訪昭登 2009 2p (D. 2710)
- ◎「『ロータリーの森』とその後」 好川嘉則 2009 1p (D. 2650)

[上記申込先: ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロー  
タリ  
ー  
文  
庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル3F  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館=午前10時～午後5時  
休館=土・日・祝祭日



# 会長エレクト研修セミナー開催報告

2009～10年度会長エレクト研修セミナー「President Elect Training Seminar」(PETS)は、大塚信郎ガバナーエレクトの強い要望で、



手続要覧に則った1日半の開催を3月27日—28日に亘り“ラフレさいたま”に於いて開催いたしました。

第1日目は、岩瀬ガバナーを始め次年度地区研修委員会委員のバスターガバナーと地区役員、そして主役であるクラブ会長エレクト81名全員の参加を得、総勢130名よって、第1本会議より始まりました。

大塚信郎ガバナーエレクトの開会の点鐘、出席者の紹介及び挨拶に続き、岩瀬均ガバナーよりご挨拶とPETSの重要性についてのお話、そしてR財団『「未来の夢計画」パイロット地区申請』の審議とクラブ代表としての議決がありました。結果73の賛成票が投じられたことにより、地区内3分の2以上の賛同が得られましたのでパイロット地区へ立候補することが決定されました。

次に、津田健三次年度地区研修リーダーより「会長のリーダーシップについて」のご講演をいただき、その中で津田バスターは、「リーダーが本気でなければ組織は動かない。『自らの魂をみがき、人間性を高める』そのことを踏まえ、1年間覚悟して頑張ってください」と話されました。

大塚信郎ガバナーエレクトの基調講演では、「次年度RIのテーマと地区運営方針」が発表されました。百年に一度の世界同時不況といわれている今こそ、私たちロータリアンが長年にわたり培ってきた他の人々を思いやる精神、「超私の奉仕」の出番ですと話され、地区スローガンを一寛容の精神・慈愛の心に満ちたロータリアン「今こそ私たちの出番です」と発表いたしました。

そして、今回のPETSはエレクトが経験したGETSや国際協議会と同じ少人数討論スタイル

次年度地区幹事 川島 紹佑

をとり、当地区の7部門の活動方針をセッション形式で勉強していただく事を説明し、又、PETSに向け部門委員長が、次年度より地区に新設いたします地区研修委員会の指導を受け、セッションの運営方法を4回に亘り勉強していただいたことを報告なさり、会長エレクトには、この機会にロータリー奉仕活動へ尚一層の理解を深め、効果的なクラブ運営に役立ててほしいとのお話がありました。

全体会議終了後、部門別セッションに移り、ガバナー補佐と会長が12～14人の7グループに分かれ、1セッション50分で3セッションを受講していただきました。

PM7:00～楽しく夕食懇親会を行い98名の方が宿泊いたしました。翌朝、50名で6時半にラジオ体操をし、朝食を済ませた後8:10～12:00の間に、残りの4部門のセッションの受講をしていただきました。

昼食後、ガバナー補佐にグループ別の討論および諸手続の説明会を企画実行していただき、2日目全体会議へと進んでいきました。

全体会議では、PETS参加者代表の感想が、上尾RC細野宏道会長エレクト、青木伸翁第8グループガバナー補佐よりあり、「大変有意義なセミナーであった」とのことでありました。津田研修リーダー・研修委員の北バスター・中村直前ガバナーよりPETS所感を語っていただき、最後に講評を岩瀬ガバナーよりいただき、1泊2日のPETSを無事終了することができました。

PETS終了後、エレクト事務所に大変勉強になった等のお褒めの声を多数戴いておりますことを申し添え、又、各クラブ次年度会長の皆様のご奮闘をご祈念申し上げ、会長エレクト研修セミナーの報告とさせていただきます。



## 新会員の 声

## 「ロータリアンになれるかな？」

浦和北ロータリークラブ 梶田 智章



胸に金色輝くロータリークラブの「バッジ」を中村ガバナーさんに付けていただいてから丁度1年半になりました。

最初に感じましたのは、会員皆様各個人の「教養と資質の高さ」でありました。

「友がみな われよりえらく 見ゆる日よ  
花を買い来て 妻としたしむ」

(石川啄木)

いやいや「途轍もない場所に居る自分」を恥らいました、これは相当精進を重ねないと「置いてゆかれる」これが第一の感想でした。

各種委員会・他クラブの会への出席等々の心配

……私は「果たしてついて行くことが出来るか」が心配でした。

幸いにも「遠方」・「新人」・「高齢」等に甘えつつ「身分の存続」を許されております。

綱領・定款・細則等まだまだ不勉強ですが、1日も早く「レベルアップ」に努め、先輩のような「ロータリアン」になりたいものです。

残された「時間」の少ない私です、「入りて学び・出でては奉仕」を理想に、幸いにも私には、両親からいただいた「両手があります、右手は家族のために・左手は今までお世話になった人達と恵まれない人達のために」を理念として、真の「ロータリアン」に成長したいと思っています。

## 米山記念奨学生だより

## ゾー ナイン ウィン

国籍：ミャンマー

大学・課程：埼玉大学博士課程

世話クラブ：浦和北 RC

私は埼玉大学理工学研究科設計計画研究室で研究しています。博士3年生で、“ポイント割引付き渋滞課金制度”に関して研究しています。2006年4月から博士課程の学生になり、まず研究のテーマを決めるため頑張りました。博士課程を卒業するのに沢山のステップがあります。まずは自分がやりたい研究テーマに関係がある知識が要ります。昔から今現在まで色々な人たちが色々な研究をやっています。その中から新しいアイディア、または新しい方法を見つけなければなりません。ですから、沢山の論文を読まなければなりません。私は渋滞課金制度に関する沢山の論文を読んで、思いついた新しいアイディアを指導教員の先生にプロポーズしました。そして先生とのセミナーの中で何回も相談しました。研究の手順が準備できたあとで研究を始めました。私の研究の基本的な方法は、モデルを作り、アンケートを配ってデータを集めます。そして、集まった

データを色々な方法で分析します。分析して得られた結果で、“ポイント割引付き渋滞課金制度”の社会への影響を評価します。これらが私の研究の基本的な方法でした。私は研究のため日本と母国ミャンマーでアンケートを配りました。既にデータを分析して、研究の目的のため良い結果を得ました。今現在はその結果を発表するため論文を書いています。

博士課程を卒業するためには研究だけではなく、国際会議におけるプレゼンテーションの経験、そして国際ジャーナルでの研究の発表が必要です。私はそれらの必要なことを全てできました。WCTR (World Conference on Transportation Research) 2007とEASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) 2007で発表し、中国の大連大学で行われた国際会議でプレゼンテーションをしました。そして、もう二つの国際ジャーナルにも論文を投稿し、これらの結果はもうそろそろ出る予定です。もし私の論文が受理されましたら、来年の1月にアメリカのワシントン D.C. でプレゼンテーションをする予定です。

ロータリー米山記念奨学会のおかげで研究を良くできました。本当に有難うございます。

## 連載 第十一回 ロータリー情報ニュース

# 「充実した会員卓話こそ例会をより一層高度なものにする」

ロータリー情報委員長 瀧田 和雄

月信4月号で「例会の充実」がいかに大切であるかを述べさせていただきました。当然のことですが誰しもがそうあることを願っております。然し現実はどうでしょうか。前号で「例会は自己研さんの場」であることをガイ・ガンディガーの文章を引用してお伝えしました。それと同時に「例会は人生の道場である」と米山梅吉が言っております。我々ロータリアンは「例会」に何を求めて出席しているのでしょうか。当然ですが、一週間振りの会員との出会いを求めて会話を楽しみに、或いは、その日に組み込まれているプログラムを楽しみに足を運ぶことでしょう。人それぞれですが目的は一つです。

「例会は自己研さんの場である」と申し上げました。自己研さんとは言い換えると「自分に足りないものを求める」ことではないでしょうか。「例会」で大勢の友人との出会い、会長のスピーチ、興味ある卓話、雑談の中から得る知識など「例会」はロータリー以外では得られない知識の宝庫ではないでしょうか。

「例会」とはこれほど大切なものであります。然し、現実はどうでしょうか。例えば、ある会員がプログラムの中で何月何日の例会で会員卓話することになっているとします。例会プログラムは年度当初から決まっているはずですが。その会員は当日の卓話が、自分の聞いてもらいたい話が、聞いてくれる会員をして大きな感銘を与えるものでなくてはならないものであるとの認識を自覚している筈です。自分の経営者としての専門的知識は自分だけのものです。その

ために会員は何カ月も前から原稿を書き、何度も書き直して準備することでしょう。そして聞いてくれた同僚の感動の拍手を耳にして自らが充実感を味わうのです。相手が求めているものを提供することこそ「心の奉仕」と言えるのではないのでしょうか。

会員卓話の機会は一人の会員が一年に1回あるか無いかは現実だと思います。特に会員が数十名のクラブでは2～3年に一度位しか順番が回ってこないところもあることでしょう。その時のために常に準備しておかれてはいかがでしょうか。急に空白ができるようなアクシデントが起きることもあります。その時があなたの出番です。

外部卓話も部門によっては重要な要素も多く含んでおります。然し、会員卓話こそ会員同士がその人の生き方、知識、哲学、心の持ち方等を理解し共有する最高の場であると思います。

最も憂慮されているのが「例会」のマンネリ化であります。「例会に出席しても得るものがない。新鮮味がない。毎回同じようなものだ。」……これでは会員の出席率も低下の一途を辿るばかりです。曳いては会員の減少に繋がることになりかねません。

どうかより一層、「例会の大切さ」を会員の皆さんで共有してください。各クラブのプログラム委員長は会長と相談して「例会の充実」と「会員卓話の必要性」を検討していただくようお願い申し上げます。

**大塚ガバナーエレクトは会員の出席率を95%に定めておられます。**

## 連載

## ロータリーの職業倫理訓逐条解説（11）

## 全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

職業倫理委員長 青木 伸翁

第10条 自分は、一般人に対して義務を負う以上に同僚たるロータリアンに対して義務を負うものではない。ただしロータリーの真髄は競争ではなくして協力であるからであり、また党派心はロータリーのごとき制度においてはあってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、その範囲とその重要性とにおいて人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからであり、かつまたロータリーはこの高邁な理想に向かってすべての制度に属するすべての者を教化するために存在するものである。

これは自由主義経済体制の下でロータリアンが利益追求をしていく過程においてその根底に友情という、利益追求とは質の異なる信頼関係をおき、しかしその関係は誰にでも平等に与えられるものでなければならないということを訓えるものです。ロータリアン相互の友情は決して特殊な友情ではなく、人類一般に保障された基本的人権の尊重と同一の基盤を持つことを指摘したものです。

ロータリーの友情は、ある種の宗教がそのグループの中だけでお互いの傷をなめ合っているような、あるいは特殊なグループがその中だけの論理を持って心を束縛し、全く社会性を持たないような閉鎖的な友情ではなく、常に地球社会全体に開かれた友情でなければならないということではないでしょうか。

それは決してロータリークラブという特殊集

団の中だけの自己満足であってはならないということです。そして、ロータリアンは常に社会に対して責任を持ち、ロータリーの掲げる理想を伝えるという使徒的な使命を己に課すものでなければならないということではないでしょうか。

1923年の国際ロータリー会長、ガイ・ガンディカーはその著書「ロータリー通解」において、ロータリーの目的の第1に「会員個々人の向上」を掲げています。つまり、ロータリーの奉仕とは良質な職業人である、会員一人ひとりが例会において自己研鑽を遂げ、一例会終わるごとに、自分の心の世界を深く、高く、自分の力量を大きくしていくことを意味するのであって、その結果実力の涵養と人格の形成を遂げ、会員個々人が向上することになるのです。

こうなって初めて、社会に対し使徒的な使命を果たすことができるということになるのではないのでしょうか。

ロータリーのギヤのバッジは、そうした私たちロータリアンと社会の人々を結ぶシンボルでなければならないと思います。

次回6月号は

第11条 「すべて人にしてもらいたいと欲することを人に対して行うべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべきことを主張してやまないものである。



## ロータリー財団

大口寄付 16,260 \$

田村 亮夫  
(川口モーニング)  
平成21年 3月21日

大口寄付 11,750 \$

小林 操  
(越谷北)  
平成21年 2月25日

大口寄付 11,200 \$

岩田 義雄  
(川口)  
平成21年 3月27日

M・P・H・F(5)

渡辺 博司  
(上尾西)  
平成21年 3月18日

M・P・H・F(4)

水野 泰男  
(越谷)  
平成21年 2月25日

M・P・H・F(4)

高崎 英雄  
(浦和東)  
平成21年 3月22日

M・P・H・F(4)

磯貝 九万  
(八潮)  
平成21年 3月25日

M・P・H・F(3)

木村 二夫  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(3)

小林 光則  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(3)

長島 洋一  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(3)

安井 晃  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(3)

宮本 和寿  
(岩槻東)  
平成21年 2月24日

M・P・H・F(3)

大井 巳喜彦  
(三郷中央)  
平成21年 3月 4日

M・P・H・F(3)

染谷 庄一郎  
(大宮北)  
平成21年 3月13日

M・P・H・F(2)

清水 裕次  
(岩槻東)  
平成21年 2月10日

M・P・H・F(2)

一柳 昌利  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(2)

関森 初義  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

ベネファクター

M・P・H・F(2)

堀野 眞孝  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(2)

宮崎 敏博  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

M・P・H・F(2)

高橋 博  
(草加南)  
平成21年 2月25日

M・P・H・F(2)

藤田 和 二  
(大宮北)  
平成21年 3月13日

M・P・H・F(2)

井田 喜代志  
(鴻巣水曜)  
平成21年 3月26日

M・P・H・F(2)

岩 渕 秀 一  
(越谷南)  
平成21年 3月27日

P・H・F

中島 正義  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

P・H・F

渡部 行光  
(川口)  
平成21年 3月27日

P・H・F

早田 幸雄  
(上尾西)  
平成21年 3月30日

ベネファクター

上床 和 秀  
(越谷北)  
平成21年 2月12日

ベネファクター

笠松 雅美  
(川口)  
平成21年 3月30日

## 米山奨学会

米山功労者メジャードナー(23)

松井 克彦  
(三郷中央)  
平成21年 3月11日

米山功労者マルチブル(9)

中島 美三郎  
(越谷)  
平成21年 2月25日

米山功労者マルチブル(7)

石塚 栄一  
(大宮中央)  
平成21年 4月 7日

米山功労者マルチブル(5)

金本 栄 馨  
(さいたま新都心)  
平成21年 3月17日

米山功労者マルチブル(5)

石井 秀 幸  
(大宮中央)  
平成21年 4月 7日

米山功労者マルチプル(4)



守屋 実  
(大宮中央)  
平成21年4月7日

米山功労者マルチプル(3)



磯貝九万  
(八潮)  
平成21年3月25日

米山功労者マルチプル(2)



和田英二  
(浦和西)  
平成21年4月3日

米山功労者マルチプル(1)



藤田和二  
(大宮北)  
平成21年3月13日

米山功労者



竹中永隆  
(鳩ヶ谷シティ)  
平成21年3月23日

準米山功労者



藤村憲三郎  
(上尾)  
平成21年2月27日

準米山功労者



藤村 作  
(上尾)  
平成21年2月27日

## 新会員



原田晃博  
(岩槻)  
平成21年1月8日入会  
(有)原田給油所  
ガソリン



青山いづみ  
(岩槻東)  
平成21年2月10日入会  
いづみメモリアルサポート  
サービス業



高野 明  
(浦和)  
平成21年2月27日入会  
総合警備保障株式会社  
警備保障



長谷川守充  
(戸田)  
平成21年3月2日入会  
(有)ハセガワ  
写真



鳴海 広  
(大宮シティ)  
平成21年3月4日入会  
(有)鳴海テント  
テント看板 製造販売



平子敬三  
(川口南)  
平成21年3月4日入会  
(有)ストックヤード  
飲食業



鈴木隆司  
(春日部イブニング)  
平成21年3月17日入会  
(株)センチュリーホーム  
建設業



佐藤 進  
(川口)  
平成21年3月19日入会  
(株)ヤザキンメイ  
住宅設備機器



関根 徹  
(さいたま中央)  
平成21年4月2日入会  
(株)関根商店  
建設資材販売



佐藤志郎  
(浦和南)  
平成21年4月6日入会  
大水準産(株)  
合成樹脂製造



河本 博  
(大宮東)  
平成21年4月8日入会  
富士ソフトケーシーエス(株)  
IT・システム開発



宇田貞幸  
(上尾)  
平成21年4月9日入会  
日本生命相互会社  
保険業



谷 雅富  
(越谷南)  
平成21年4月9日入会  
日本ヒルズ・コルゲート(株)  
ペットフード製造販売

## 訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



加藤顕一 会員(蕨)  
平成21年3月20日  
享年81歳



石井秋野 会員(越谷北)  
平成21年3月21日  
享年85歳

## 「四大奉仕部門功労者賞」申請の締切り迫る

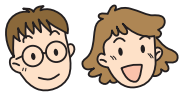
四大奉仕部門功労者賞は、四大奉仕部門において貢献したクラブ会員1名を、その卓越した努力を称えて表彰するものです。クラブ会員は、四大奉仕部門の各分野(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)における奉仕活動に積極的に参加し、ロータリーの綱領の推進に範を示した人物でなければなりません。本賞を受賞できるのは1回限りです。

クラブ会長は、推薦者名および推薦理由を所定の用紙に記入の上、5月29日までにガバナー事務所に送付してください。尚、クラブ会長はその会長年度には申請資格がありません。

詳細は [http://www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/awards\\_fas\\_ja03.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/awards_fas_ja03.pdf) を参照ください。

グループ	クラブ名	2008年 7月1日現在		当月末 会員数		当月入会	当月退会	増 減	当 月 出席率	当月 順位	通算 順位
		内女性		内女性							
第一グループ	浦 和	102	2	104			1	2	91.60	12	9
	浦 和 東	73		72				-1	90.00	16	17
	浦 和 南	37		37					95.21	5	10
	浦 和 中	44	2	42	2		1	-2	76.22	60	36
	浦和ダイヤモンド	19	10	21	11			2	97.70	1	2
	第1グループ計	275	14	276	13	0	2	1	90.15		
第二グループ	浦 和 北	79	6	76	5		1	-3	93.98	7	7
	さいたま中央	48		51	2			3	79.41	48	43
	浦 和 西	14	3	13	2			-1	86.54	29	18
	浦 和 北 東	40	1	39				-1	78.97	52	68
	さいたま新都心	38		40				2	86.18	31	15
	浦和イブニング	11	1	9	1		1	-2	77.77	56	65
	第2グループ計	230	11	228	10	0	2	-2	83.81		
第三グループ	大 宮	59		60			1	1	82.13	43	45
	大 宮 南	35	5	36	5			1	88.88	22	35
	大 宮 中 央	58		55			1	-3	75.46	64	77
	大 宮 南 東	8	2	8	2				87.50	27	37
	大 宮 シ テ ィ	56	6	59	6	1		3	79.31	49	55
	さいたま樺	21		22	2			1	78.18	53	59
	第3グループ計	237	13	240	15	1	2	3	81.91		
第四グループ	大 宮 西	46		47				1	74.26	68	67
	岩 槻	35	3	38	4			3	75.33	65	79
	大 宮 北	32	1	31	1			-1	70.02	74	53
	大 宮 南 西	17	1	18	1			1	61.11	79	78
	大 宮 東	41	1	37				-4	91.89	10	1
	岩 槻 東	34		33	1			-1	79.03	50	58
	大 宮 北 東	17	2	21	2			4	60.73	80	71
	岩 槻 中 央	19		19					89.85	18	14
	第4グループ計	241	8	244	9	0	0	3	75.28		
第五グループ	上 尾	44		47			1	3	81.25	47	49
	鴻 巣	36	1	35				-1	84.29	36	22
	桶 川	28		29				1	74.99	66	48
	上 尾 西	52		51				-1	92.90	9	11
	北 本	8		7			1	-1	74.98	67	75
	上 尾 東	26		25				-1	73.60	69	70
	上 尾 北	32		31				-1	69.23	76	39
	鴻 巣 水 曜	33	3	31	3			-2	94.16	6	52
	桶川イブニング	18	2	17	2		1	-1	69.44	75	63
	第5グループ計	277	6	273	5	0	3	-4	79.43		
第六グループ	春 日 部	45		43			1	-2	88.38	25	20
	杉 戸	29	2	26	2			-3	83.84	37	61
	春 日 部 西	37	4	35	3			-2	86.30	30	57
	庄 和	24		22				-2	78.10	55	47
	春 日 部 南	28	5	26	5		1	-2	71.29	71	76
	春日部イブニング	18	1	23	1	1		5	88.74	23	27
	杉 戸 中 央	22		24				2	70.83	73	73
	第6グループ計	203	12	199	11	1	2	-4	81.07		

グループ	クラブ名	2008年 7月1日現在		当月末 会員数		当月入会	当月退会	増 減	当 月 出席率	当月 順位	通算 順位
		内女性		内女性							
第七グループ	幸 手	47	3	45	2			-2	81.48	46	56
	蓮 田	31		30				-1	91.11	13	40
	久 喜 菫 蒲	56	2	55	2			-1	84.49	33	30
	栗 橋	15		14				-1	93.18	8	28
	白 岡	5	1					-5			81
	幸 手 中 央	25	1	25	1				79.00	51	60
	第7グループ計	179	7	169	5	0	0	-10	85.85		
第八グループ	越 谷	77		78				1	85.90	32	6
	越 谷 南	47	2	42	2		2	-5	71.10	72	66
	越 谷 北	45		51			1	6	81.95	44	33
	越 谷 東	45	4	47	5			2	76.07	61	50
	越 谷 中	17	1	17	1				56.25	81	82
	第8グループ計	231	7	235	8	0	3	4	74.25		
第九グループ	草 加	23	2	22	2			-1	64.70	78	80
	ハ 潮	49	6	50	5	3		1	90.05	15	34
	草 加 南	18	2	19	2			1	71.42	70	46
	ハ潮イブニング	26		28	1			2	83.60	38	32
	草加イブニング	11		11					78.18	53	54
	ハ 潮 中 央	17		16				-1	96.67	3	3
	草 加 中 央	27		27	1				95.30	4	13
	ハ 潮 シ テ ィ	18		18					75.92	62	72
	草 加 2 1	10	4	10	4				83.30	41	7
	第9グループ計	199	14	201	15	3	0	2	82.13		
第十グループ	吉 川	31	2	32	2			1	84.38	34	31
	三 郷	31	2	29	2			-2	77.01	57	41
	三 郷 中 央	25		25					81.53	45	26
	三郷ウェンズデー	19	1	20	2			1	87.34	28	38
	松 伏	12	2	13	3	1		1	91.83	11	5
	第10グループ計	118	7	119	9	1	0	1	84.42		
第十一グループ	川 口	73	11	79	11	2		6	67.93	77	64
	鳩 ケ 谷	30		32	1			2	84.31	35	51
	川 口 東	21	1	22	1			1	76.39	58	25
	川口・鳩ヶ谷武南	30	2	29	2			-1	83.33	40	44
	川口モーニング	28		29				1	83.03	42	29
	川 口 南	32	6	32	5	1			75.78	63	74
	鳩ヶ谷シティ	19	2	16	1			-3	90.00	16	24
	第11グループ計	233	22	239	21	3	0	6	80.11		
第十二グループ	戸 田	52	5	54	6	1		2	88.50	24	42
	蕨	32	1	31	1		1	-1	88.90	21	21
	川 口 西	32	4	27	4			-5	83.46	39	62
	戸 田 西	33	3	32	3			-1	90.32	14	23
	川 口 北	34		35				1	96.97	2	4
	川 口 北 東	37	3	37	3				89.56	19	16
	川 口 中 央	14	1	16	1			2	89.34	20	12
	川口むさし野	14		16				2	88.34	26	19
	戸田イブニング	21		21					76.25	59	69
	第12グループ計	269	17	269	18	1	1	0	87.96		
地 区 合 計		2,692	138	2,692	139	10	15	0	82.20		



## ロータリーとその家族



### 住居を持たないフィリピンの市民に新築住居を支援



私ども幸手 RC の世界社会奉仕プログラムとして、フィリピンのマニラ郊外に住む貧しい人々に新築住宅を提供し、家のない多くの人々に生活の向上、保健衛生の向上を提供するプロジェクトです。

この事業は、フィリピン3830地区マカティ・ロータリークラブが5年前より始め、今までに約200戸を建設して一般市民に提供しております。住まいの広さは一部屋24㎡で中2階があり、ここに一家族ごと居住しております。一棟が5～7軒連なり、トタン屋根に鉄筋を入れたブロックを積みあげ、外壁はモルタルで仕上げた簡素な集合住宅です。ここの住居地区は5ブロックあり全体で500戸を目標としているとのことでした。



幸手ロータリークラブ  
会長 高橋 義弘

私どもがこのプロジェクトに参加しましたきっかけは、当クラブの姉妹クラブである台湾・桃園 RC (D3500) からの呼びかけによります。

幸手 RC とマカティ RC との共同事業となる住宅提供は、本年は個人寄付を含めて計4戸の住宅を提供いたしました。建設はマカティ RC の関係者のご尽力をいただいております。

今後もこのプロジェクトを継続することに、非常に価値のある事業と確信しております。



### 桜植樹プロジェクト



川口北ロータリークラブ 会長 榎 孝夫

川口市とさいたま市の市境付近の上谷沼の調整池に、桜の苗木50本（長さ3m）をロータリー財団地区補助金のプロジェクトとして3月1日（日）に植樹いたしました。

4月3日（金）13年にわたる植樹の記録をステンレスの看板にエッチング加工をして、取り付けました。

4月5日（日）4月3日に取り付けた看板の除幕式をガバナーと共に挙行してから、『ふれあいお花見会』を知的障害者施設「あさひあーと・あさひ福祉作業所」の子供たち、そのご家族50人を招待し、国際ロータリー第2770地区ガバナー岩渕均様のご参加のもと好天に恵まれ、バーベキュー等を楽しみ、満開の桜の下で春を満喫しました。

この場所は地域の皆様に、愛される桜の名所となることでしょう。



# 「利根川・江戸川での森づくりが始まった」

栗橋ロータリークラブ 飯島雷治郎



拡幅強化された利根川と江戸川の堤防に森を作ろうとするプロジェクトが始まりました。

昭和22年、増水した利根川が大利根町内で決壊し、大洪水が発生した。濁流は東京都葛飾区まで押し寄せ、それは首都圏における未曾有の大災害になった。この事は当地区のロータリアンもご存知の方も多いかと思います。現代において万が一、同様の洪水が発生した場合は、被害総額34兆円と試算されています。

現在、利根川と江戸川の右岸（埼玉側）を首都圏の防災対策として、強化堤防あるいはスーパー堤防と呼ばれる強固で決壊しない堤防に作り変える国家的な事業が行われています。

強化堤防の斜面は奥行きが95メートルにもなります。その大きな空間を70kmに渡る森を作る。このような壮大なプランを上田埼玉県知事は考えました。実に素晴らしい発想ではないでしょうか。サブテーマとしては「本多静六博士の森づくり」です。

昨年10月20日、私は岩渕ガバナーから電話を頂きました。その電話でこの計画を初めて知りました。同時に新聞記事と埼玉県発表の資料をもFaxで流して頂きました。

何と70キロに渡るプロジェクトの出発点が我が大利根町だったのです。ためらいなく埼玉県森づくり課へ電話しました。

このプロジェクトの大きな特徴はボランティアが維持管理する事です。それと、単なる緑化ではなく、多様な樹種を100年スパンで育てようとしている事です。

ボランティアとして栗橋ロータリークラブ、地元の大利根町、このプロジェクトを推進する埼玉県、利根川を所有管理する国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所の4者で協定書を結び、5年間の役割を定めました。

数度の打ち合わせ会議はその度毎にセレモニーの規模が大きくなって行きました。

場所：大利根町新川通り地内（決壊地点のすぐ南側で、東武日光線の鉄橋脇）

植栽面積：4200㎡

樹種：コナラ、クヌギ、エノキ、ムクノキ、ケヤキ、コブシ、シラカシ、など10数種類  
数量：284本

森づくり当日は快晴に恵まれ、上田知事、国會議員、県會議員、各市町長、議員関係者多数、そしてロータリアンと家族、ボーイスカウト栗橋1団、地元小学生、県内公募した植栽協力者など総勢300名以上の大きな式典となりました。

特にボーイスカウトは総勢70数名が参加し、今後も栗橋ロータリークラブと共に維持管理に協力してくれます。

これから工事の進捗に合わせて、範囲が拡大してゆきます。ロータリークラブが行う事業としてこれ程やりがいのある事業が他に在るでしょうか？ これによってロータリアンと新世代の若者、あるいは職場の人たちなど多様な階層との様々な組み合わせ、交流・活用が考えられます。勿論、森に育ててゆく事によって、移り変わる自然の景色を楽しんだり、移動例会にして汗を流したりしながら、次の世代へのプレゼントを手作りしてみてもは如何でしょうか。

岩渕ガバナーには第一報をいただき、感謝申し上げます。



## ラルフ・ワルド・エマソン



ラルフ・ワルド・エマソン (Ralph Waldo Emerson, 1803—1882) は、アメリカ合衆国の思想家、哲学者、作家、詩人、エッセイスト。

アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンに生まれる。18歳でハーバード大学を卒業し21歳までボストンで教鞭をとる。その後ハーバード神学校に入学し、伝道資格を取得し、牧師になる。

牧師を辞任後ボストン北西のコンコード村で思索の生活を送る。汎神論的象徴主義による「自然」(1836年)はトランセンデンタリズム運動のバイブルとなる。母校ハーバード大学での講演「アメリカの学者」(1837年)は、米国の知的独立宣言と言われてアメリカ民主主義のマニフェストとされる。

思想的な「詩集」、「エッセイ集」(第1部1841年、第2部1844年)が後代に与えた影響も大きい。

## エマソンの言葉

- ・善ならざるものは何であれ存続しえない。Nothing can be preserved that is not good. 『書物礼賛』 In Praise of Books (1860)
- ・出版から一年たっていない本を決して読んではいけない。Never read any book that is not a year old. 『書物礼賛』

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』、フリー引用句集『ウィキクォート (Wikiquote)』、百科事典『マイペディア』

味を説明したことはなさそうである。余り熱心でない私は表題と歌を知ってはいたが、意味を全く理解していなかった。

エマソンはアメリカが生んだ哲学者、思想家だから平均レベル以上の教育を受けたアメリカ人は誰でも知っている。日本の大学で英文のテキストに使っている所もある。

ポール・パーシー・ハリスを始め、ロータリー関係者は、皆熟知しているから解説の要がないと思っているのかも知れないが、教育内容の異なる日本人には説明してもらわないと判らない。

思っている。我々が税関や航空カウンターで文句を言うと、余り皮膚の色の変らない係員は機嫌が悪くなって意地悪をしかねない。ところが、イギリス人やフランス人らしき者が話すと三拝九拝して従う風景を良く見る。

アメリカ人にとって、父祖の出身国は忘れ難い故郷である。黒人奴隷としてアフリカから強制連行された人達の子孫が、先祖のルーツを尋ねて、アフリカ奥地を訪問する小説もある。

「風と共に去りぬ」の後編は余り良い出来の小説とは思われないが、懸賞募集して作者を定め、「スカールレット」と言う題の作品を作った。スカールレット・オハラが父の出身地

アイルランドに行く話だが、アメリカ人にとって妖精の棲む土地は理解の外なのである。

ポール・パーシー・ハリスはスコットランドが好きで、夫人と共に田舎で静かに暮らす旅行を楽しんだ。スコットランドの国民的詩人ロバート・バーンズを愛し、両方の夫人が同名だと言って喜んだとも言う。

スコットランド語はスコティッシュと言って、英語の方言である。かつて竹下首相の写真が出ていたので、新聞を読んで見たが、さっぱり判らなかった。

明治になってイギリス出身のアメリカ人が音楽教育の為に来日したので、小学唱歌にスコットランド民謡が沢山入っているが、「螢の光」の

曲にスコティッシュの歌詞をつけたのがロバート・バーンズである。彼の地では宴会の終りに必ず歌われるが、ニュアンスが日本とは違う。意味はこう言うことらしい。「久し振りに皆さんと会って楽しかったよ。もうお別れだが、近い内に又会って語り合おうよ。」

## ロータリーエッセイの予定

- (1) ポールへの興味
- (2) メイフラワー号とハリス家の関係
- (3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除
- (4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父
- (5) 南北戦争と戦争絶対反対
- (6) 大膨張時代とポールの青春遍歴
- (7) ロータリアンへの教訓
- (8) ポールがロータリーに求めたもの
- (9) シカゴでの弁護士生活
- (10) ポールのミドルネーム
- (11) エマソンの思想とロータリー
- (12) ポールの性格
- (13) アメリカ史の魅力

# ロータリーエッセイ

## (11) エマソンの思想とロータリー

浦和ロータリー・クラブ 矢作 好英

アメリカは19世紀後半から20世紀初めにかけて、ヨーロッパに対する独自性を主張し始めた。政治、経済について自信を持って来た為であるが、文化面でもヨーロッパの真似から卒業して、混合民族国家としてヨーロッパにはない文化を作って行った。

日本人が良く知っているのは、大リーグのベースボール、アメリカンフットボール、ミュージカル、ハリウッド映画等だが、独自性の主張はもっと範囲が広い。

アメリカ製のキリスト教がモルモン教である。ローマに滅ぼされたイスラエル人が地中海を横断したが、そのまま大西洋を越えて、アメリカ大陸に到着、住みついたと言う。内部分裂により死に絶えたが、最後に残ったモルモンが変遷後の歴史を金版に刻んだ。その黄金の板がニューヨークの山から発見され、翻訳されたのがモルモン経である。これによ

ると、キリストが天上から下って福音を説いたとされているから、その啓典に基づく宗教は間違いなくキリスト教である。1,000頁のモルモン経は、今から30年以上前に浦和クラブの卓話者になったモルモン教宣教師が寄贈して行ったのだが、私も1冊頂戴した。数年前に全部読んでいたのが、今頃になって役に立っている。ちなみにモルモン教大本山はソルトレイクにあり、日本人で初めて参観したのは木戸孝允である。

明治初めの岩倉具視の大視察団に加わって、アメリカ大陸横断鉄道に乗った木戸は、雪の為ソルトレイクで足止めを喰ったが、暇潰しに大本山に行つて最高指導者に会った話が木戸日記に出て来る。

アメリカは物質文明の国だが、物質に恵まれる程「これでいいのか」と言う反省の気分が常に湧いて来る。だから、「神はこれを許し給わない」と誰かが言い出すと、国民ほとんど

が反省を態度で表わしてしまう国民性がある。又寄せ集めの国だから、後に移民した者程「早くアメリカ人になりたい」と言う願望があり、国民的反省運動に参加する。この2つの要素が組み合つて、何十年かに1回は行き過ぎた精神運動が起る。良く知られているのは1920年から実施された禁酒法で、アルコール依存症やアル中が多発したことがあるとしても、法律で禁止したのは過剰反応である。結果的には、密造酒でマフィアが大儲けしただけであり、今のアメリカでは警察力で退治出来ない程非法組織が強大になってしまった。

第二次大戦後はマッカシーの起した赤狩りが同じ経過をたどった。

思想界にも、アメリカ的色彩の人物が出現している。ロータリーに最も影響を与えたと思われるのが、19世紀後半に一世を風靡したエマソンである。彼はハーバードの神学部を卒業したプロテスタントの牧師だが、余りに教条的な教会に飽き足りず、個人でキリスト教的人生観を説いた。彼の説はトランセンデンタリズムで、超絶主義と訳されている。

超絶とは、遙か彼方であっても人

間が毎日超えようと努力して行けば、そこ迄行ける範囲であり、それを超えるべく努めるのが人生の目的と言うことになる。この教えは「円」と言う小論文に載せられているが、ロータリーの「超我的奉仕」とはこの超絶を目指す奉仕のやり方である。

「最も良く奉仕する者が最も良く報われる」と言うロータリーソングの歌詞があるが、これと同旨なのが「償い」と言う題の小論文である。

エマソンはアメリカの一般人の読書傾向を知っているらしく、長い論文は余りなく、20頁位の短い文章で簡易に説明している。エマソンはこう言う。「人間が死んでから最後の審判で善行や悪行の報いを受けると言う迂遠な話は、私の好みではない。悪行を重ねた者は、いつかバレーで自分の評判や社会的地位が崩れるのではないか、と常に心配している。これが悪行の報いなのである。それに反して、善行を積み、誰はばかるとなく堂々と人生を送って行けるのが、善行の償いである。人間は死後ではなく、この世で善悪の償いを受けるのである」と。

ロータリーでは、超我的奉仕を掲げ、ソングを歌うことはあるが、意





写真で見る

# ロータリーとその家族



上尾 RC

献血活動



交通安全啓蒙品の配布



交通安全街頭キャンペーン



大宮シティ RC

環境省紙芝居



川口北 RC

創立 25 周年記念植樹の枝垂れ桜



栗橋 RC

利根川のスーパー堤防に植樹



紙与作（紙薪製造機）



1997年3月ポールハリス没後50周年記念植樹の桜50本



68万本植樹の最初の一步

## 『さくらの里』へテレビの贈呈

幸手 RC 会長 高橋 義弘



『さくらの里』にて通所生たちと一緒に記念撮影

幸手ロータリークラブ本年度の社会奉仕事業の一環として、幸手市心身障害者施設『さくらの里』へテレビの贈呈をしました。

この施設を利用している通所生の自立訓練と、社会復帰の適応能力を高めることにテレビがたいへん役立つとのことです。例えば避難訓練や交通安全の教育は言葉では伝えにくいようですが、映像による視覚からの指導が最も効果的と伺いました。

通所生の皆様がビデオ等を利用したテレビの活用をすることで自立訓練や授産活動の支援ができますことは私どもにとって大きな喜びとするところです。

このページは皆様のクラブやロータリー家族からの投稿を写真入りで掲載します。  
投稿はガバナー事務所まで。E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp